

# 英語



## 授業に自己調整学習を組み込み、 多様な学力の生徒の学びを充実させる

三重県立松阪工業高校 中村智宏

学校を問わず、生徒の学力差の拡大が課題となっている中、個別最適な学びの実現を自己調整学習を通じて目指す三重県立松阪工業高校の中村智宏先生。教師によるインプットを精選し、生徒に学びを委ねる授業を実践している。

### 授業の概要

#### 授業を3部構成にし、 その1つで自己調整学習を実施

中村智宏先生は、2023年度の3学期から、自己調整学習を取り入れた授業を行っている。

中村先生の授業は、大きく3つの活動で構成される(図1)。授業の前半は、最初に本時の学習内容を確認し、前時の復習と本時のポイントの説明を行う。その時間では、生徒は中村先生の説明を集中して聞き、原則として板書やスライドの内容をノートに写すことなどはしない。

『今日の授業で、学ばなければならない単語を

いこなせるようになる」と、いろいろな情報を一文にまとめて伝えられるようになって便利だよ』『この英文法は、就職試験などでもよく出題されるので、しっかりとマスターしよう』などと、学習に対するモチベーションを高める声かけを行ってから、本時のポイントを説明するようにしています。本校は、英語が苦手な生徒が少なからずいるので、『これだけは理解しよう』『応用力を身につけたい人はこの表現も押さえよう』などと、多様な生徒の英語力を踏まえた指導を心がけています」

授業の中盤は、教科書の内容を理解するために必要な知識を、教科書準拠

時間の目安	内容
3分	導入、前時の復習
10分	本時のポイント①の説明
10分	教科書準拠の教材を使った、知識の整理
10分	本時のポイント②の説明、ペアなどでの言語活動
15分	自己調整学習
2分	まとめ、振り返り

※学校資料を基に編集部で作成。

### 学校概要

設立 1902(明治35)年  
形態 全日制・定時制/工業化学科・機械科・繊維デザイン科・自動車科・電気工学科(以上、全日制、普通科(定時制)/共学  
生徒数(全日制) 1学年約200人  
2023年度卒業生進路実績(全日制) 4年制大は、三重大、秋田公立美術大、愛知工業大、大同大、名古屋芸術大、名城大などに延べ26人が合格。短大・専門学校進学32人。就職129人。



教諭  
中村智宏

なかむら・ともひろ  
同校に赴任して6年目。英語科。



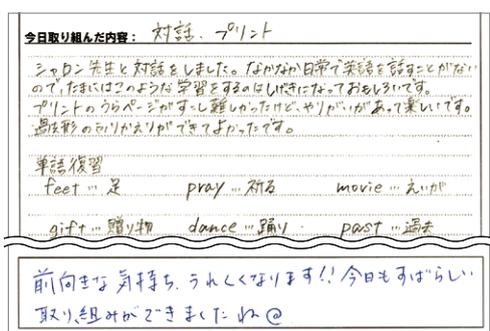
写真 自己調整学習の時間に中村先生が用意した英語の動画を視聴する生徒。先生が用意した学習コンテンツだけでなく、取り組むことを自分で決める生徒もいる。

### ICTを活用して、個々の学びの興味・関心に応える

の教材を使って整理する。生徒はその時間で授業の前半の内容を理解できていくかどうかを確認し、後半の自己調整学習の時間で自分は何に取り組む必要があるのかを意識し始める。

授業の後半は、生徒の自己調整学習の時間だ。生徒は授業の前半の内容の理解度に応じて、中村先生が用意した学習コンテンツの中から自分が取り組むべきものを選んで学習する（写真）。学習コンテンツの多くはタブレット上で取り組むことができるものであるため、中村先生は各生徒がどの学習コン

### 図2 生徒の振り返り



※学校資料を抜粋して掲載。

텐츠をどこまで取り組んでいるのかを把握することが可能だ。

生徒は、授業の最後に本時の振り返りを「自己調整学習の記録ノート（図2）」で行う。その日の自己調整学習の時間に取り組んだ学習コンテンツと学んだことを記入したら、中村先生がノートを回収。内容を確認し、コメントを書き添えて、次時の自己調整学習の時間に生徒に返却する。

「記録ノートの記述内容は、『主体的に学習に取り組む態度』の評価材料の1つにしています。自己調整学習の時間に、私がその日に用意した学習コンテンツに加えて、生徒が自分で探して取り組んだ学習コンテンツが、本時の授業の理解を深めるために有効だった

場合は加点しています」

中村先生が自己調整学習に関心を持ったのは、教師になったばかりの頃だったという。

「この学校でも、学びを先に進めたい生徒もいれば、ゆっくり時間をかけて、時には既習内容に戻って学びたい生徒もいます。しかし一斉授業では、個々の興味・関心に応えることには限界があり、補習や課題などで対応する

### 生徒の自己調整を促す工夫

#### 学力や興味・関心に合わせ、多様な学習コンテンツを用意

中村先生は、生徒の学力や興味・関心に合わせて、できるだけ多様な学習コンテンツを用意することに力を入れている（P. 22 図3）。ある日の2年生の「英語コミュニケーションⅡ」の授業では、教科書で取り上げられた動物について英語で説明している動画サイトや、その日の学習内容に関連する既習事項の復習など、6コンテンツを用意した。

「自己調整学習用の学習コンテンツの一覧に各動画の再生時間を並記するので、生徒は時間配分を考えながら自

ので精いっぱいでした」

21年度に1人1台端末の整備が進んだことで、多様な生徒の学びの興味・関心に対応する学習コンテンツを準備・活用することができるようになった。現在、中村先生の授業の自己調整学習の時間では、中学校で学習した内容から英語の資格・検定試験の対策まで、多い時には6種類以上の学習コンテンツを用意しているという。

分に必要なコンテンツを組み合わせて学習を進めます。生徒から「自分たちのためにこんなにたくさんコンテンツを用意してくれて、ありがとございます」と言われた時は、想定外の言葉に驚きつつも、やりがいを感じました。一方、校務とのバランスを考え、学習コンテンツの準備に時間が取れない時は、ウェブサイトの紹介にとどまることがあります」

1コマの中で自己調整学習が占める時間は15〜20分間ほど。そのため、一斉授業だけの時よりも、中村先生による説明に充てられる時間は少ない。「自己調整学習の時間を設ける分、

図3 自己調整学習の計画例

4月	5月	6月	7月
その時期の主な行事・活動			
基礎力診断テスト	インタビュー 中間考査	インタビュー 外部検定試験(希望者)	期末考査 夏季休業課題
教師が提示する自己調整学習コンテンツ例			
<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の見直し</li> <li>中学校の学習内容の復習</li> <li>基礎力診断テストの事前教材など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の見直し</li> <li>中学校の学習内容の復習</li> <li>中間考査対策</li> <li>インタビュー練習</li> <li>資格・検定試験対策問題演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の見直し</li> <li>中学校の学習内容の復習</li> <li>期末考査対策</li> <li>インタビュー練習</li> <li>資格・検定試験対策問題演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の見直し</li> <li>夏季休業課題</li> </ul>

※学校資料を基に編集部で作成。

私からの説明は、全員にこれだけは理解してほしいといったポイントを精選しなければならず、授業の準備は大変になりました。しかし、50分間ずつと私が授業を主導していた頃は、生徒の

集中を維持することにも苦労していましたし、生徒も授業の内容を消化し切れずにいました。生徒が課題意識を明確にして自己調整学習に取り組むことで、50分間の授業がメリハリのあつたものになっていると思います」

実は23年度の取り組み以前は、約5分間の自己調整学習の時間を、授業の中で3、4回に分けて実施していた。と言つのは、まとまった時間を生徒に預けることに不安があつたからだ。

「自己調整学習の時間を授業の後半にまとめて、生徒はしっかりと集中して学習に取り組みますし、何より、その間に私は丁寧に机間巡視し、生徒からの個別の質問に答えたり、生徒の学

習状況からつまづきを早期に発見して指導したりすることができるようになりました」

初めて自己調整学習に取り組む生徒のために、24年度の授業開きでは、授業を3部構成にしている意図を丁寧に生徒に説明した。また、自己調整学習の時間に学習コンテンツを自分で探したり、資格・検定試験や就職試験の対策用の教材に取り組んだりした生徒をモデルケースの1つとして紹介した。

「先輩たちは自分の学力や興味・関心に合わせて学習を自己調整していたこと、そしてその結果、多くの生徒の成績が向上したことを伝えて、自己調整学習に取り組む意欲を高めました」

## 成果・展望

### 自分に合った学習を通して 英語に自信を持ち始めた生徒

自己調整学習の時間を本格的に取り入れた24年度、定期考査や「基礎力診断テスト」の英語の成績が大きく向上した。中村先生が何より手応えを感じているのは、学校生活の中で英語を使う生徒が増えたことだ。

「英語の授業で学んだ表現を、授業の前後や部活動中に友人同士で口にする生徒が多くなりました。また、自分が自己調整学習の時間に取り組んだ学習コンテンツを友人に紹介するなど、学習方法を教え合う生徒も増えました。生徒には元々英語を話したり、書いたりすることができるようになってきたという気持ちがあり、理解があやふや

だった部分が自己調整学習を通して解消することができたことで、自分の英語力に自信が持てるようになったのだと思います。一斉授業ではいつの間にか埋もれてしまっていた英語に対する生徒の思いを引き出すことができていくこともうれしく思っています」

今後の課題は、生徒の自己調整学習に中期的な目標を設定し、学習のモチベーションをさらに高めることだ。

「2年生には『学年末にA・L・Tと英語で雑談できるようになる』と呼びかけています。少し先の未来の目標も持たせて、自分の学びを調整する経験を積んでいってほしいと思っています」

### ●生徒の声

今日の自己調整学習の時間は、教科書で取り上げられた動物について英語で説明している動画を視聴し、残りの時間は単語の復習をしました。自己調整学習の時間では、苦手な克服などに取り組むことが多いです。

自己調整学習の時間に、資格・検定試験対策の問題集に取り組みました。部活動で忙しい時には、自己調整学習の時間に英語の宿題に取り組むこともあります。自分の状況に合わせて学習することを選べるのがよいと思います。